

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	雇用安定事務に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	5	1	1	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	商工振興課			
施策	333活力ある工業の育成	担当課室長	葛山 順一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	退職金共済制度の加入促進を図るため、市広報をはじめ、さまざまな媒体を介してPR活動を行う。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	ハローワーク求人情報のオンライン提供の活用などによる相談体制の充実により、雇用の安定化を図る。
②①に基づく取り組み結果	広報紙やホームページにより制度の周知を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民及び事業者	意図(対象をどうするのか)	雇用の安定化を図る。
②事務事業の概要	中小企業退職金共済掛金補助金や職業紹介事業及び就職支援セミナーにより雇用の安定化を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	中小企業においては引き続き厳しい経営環境が続くものと予想される。また、市民から就労に対する支援についても要望がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	中小企業の雇用安定化に資金面から寄与することができた。また、職業相談及び就職支援セミナーにより市民の就労を支援することができた。				
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	算定根拠
	i 退職金共済加入者	118	95	131	人 業務取得
	ii わーくプラザ鎌ヶ谷来所者数	4,499	4,020	3,673	人 業務取得
	iii 就職支援セミナー参加者	52	97	49	人 業務取得
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算
事業費(千円)	3,227	3,595	金額(千円)	内容	3,746
国支出金(千円)			2,233	非常勤職員賃金	
県支出金(千円)			979	中退共補助金	
市債その他(千円)					
一般財源(千円)					3,746

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	職業紹介事業に係る相談体制を充実させていく必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	市内の中小企業で働く従業員の福祉の向上及び雇用の安定を図っていくため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績		当初		H26からの繰越	
		H26⇒27繰越			
③達成状況		補正		現年分	
		流用・充当			
④未完了・非着手の理由	平成28年度への繰越額(単位:千円)				

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	中小企業資金等に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	7	1	2	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	商工振興課			
施策	333活力ある工業の育成	担当課室長	葛山 順一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	融資枠拡充の検討と中小企業者への更なる周知を図る。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	中小企業者への更なる周知を図る。
②①に基づく取り組み結果	広報紙やホームページにより制度の周知を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内の中小企業事業者	意図(対象をどうするのか)	資金融資を通じ、中小企業の経営の安定及び振興を図る。
②事務事業の概要	中小企業に対する資金融資や融資の利子に対する利子補給を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	中小企業においては引き続き厳しい経営環境が続くものと予想される。また、商工業の経営安定や振興についても要望がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	中小企業の経営の安定及び振興について、資金面から寄与することができた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	資金融資額	26	19	24	千万	業務取得
	ii	利子補給額	991	1,094	1,135	万円	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳			平成28年度予算	
事業費(千円)	100,942	102,172	金額(千円)		内容	101,383	
			11,355	利子補給金			
			90,000	融資預託金			
	100,942	102,172				101,383	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	取扱金融機関の一部において融資枠が十分に活用されてない状況となっている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	資金融資等により市内中小企業の経営基盤を強化していくため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越	
		H26⇒27繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	流用・充当					
	平成28年度への繰越額(単位:千円)					

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	企業誘致基本計画推進事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	7	1	2	○
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	商工振興課			
施策	333活力ある工業の育成	担当課室長	葛山 順一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	進出企業に対する優遇措置等を定めた条例の制定	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	進出企業に対する優遇措置等を定めた支援制度の検討
②①に基づく取り組み結果	優遇措置等の内容について庁内検討会において議論を実施したが、条例制定までには至らなかった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内外の企業及び市民	意図(対象をどうするのか)	市内への企業立地の促進及び市民の雇用の場の創出
②事務事業の概要	鎌ヶ谷市企業誘致基本計画に基づき、企業誘致に係る各種取り組みを行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	今後も地元における雇用の確保及び地域経済の活性化を図るうえでも新たな企業の立地が求められる。また、「立地を活かした新産業の誘導」は、市民意識調査によると不満足となっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	本市の魅力や優位性等を全国の企業へ広くPRするため、企業誘致ホームページの運用により情報発信を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	パンフレット作成部数	1	—	—	万部	業務取得
	ii	ホームページへのアクセス件数		9296	8683	件	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	0	0	金額(千円)	内容	109		
国支出金(千円)							
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)					109		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	企業の市内への進出意向を高めるための支援制度の創設や活用可能な用地の確保。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	雇用の創出と地域経済の活性化のために企業の誘致策を検証していく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	進出企業に対する優遇措置等を定めた条例の制定	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	優遇措置等を検討するにとどまった。	2,252	2,252	当初	2,252	0	H26からの繰越
				H26⇒27繰越			
③達成状況	未完了			補正			現年分
④未完了・非着手の理由	H26年度の庁内検討がH27年度まで継続となったため	平成28年度への繰越額(単位:千円)					